

2025年2月26日

# 2024年12月期 決算説明資料

東京証券取引所プライム市場：4641

人が未来-Next Technology Frontier®

 **Alps** 株式会社アルプス技研

# 目次

---

- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# 目次

---

- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# 外部環境

- 業況：製造業では旺盛な投資が継続
- 人材：採用活動では売り手市場が継続

## 技術者派遣市場規模の推移



出所: 矢野経済研究所『2024年版 人材ビジネスの現状と展望 PART2 業種・職種別人材サービス編』

## 製造業の研究開発費



出所: 総務省統計局『科学技術研究調査(2024年)』

## 採用充足率



出所: リクルートワークス研究所『中途採用実態調査』  
: マイナビ「2025年卒マイナビ企業新卒内定状況調査」

## 賃上げの推移



出所: 日本労働組合総連合会

# 2024年通期 概要 -1-

- 連結：アウトソーシング事業が牽引し売上高増
- 個別：高稼働率や契約単価の上昇により売上高増

(単位:百万円)

【連結】	2023年12月期	2024年12月期	増減率
売上高	46,216	49,858	7.9%
営業利益	4,982	5,159	3.6%
経常利益	5,053	5,313	5.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,696	3,677	△0.5%

【個別】	2023年12月期	2024年12月期	増減率
売上高	36,274	38,627	6.5%
営業利益	4,632	4,727	2.1%
経常利益	4,827	4,723	△2.1%
当期純利益	3,523	3,148	△10.6%

# 2024年通期 概要 -2-

## ■ アウトソーシング事業が牽引し売上高増

(単位:百万円)

【連結】	2023年12月期	2024年12月期	増減率
売上高	46,216	49,858	+ 7.9%
売上原価	35,263	38,264	+ 8.5%
売上総利益	10,952	11,594	+ 5.9%
販管費	5,970	6,434	+ 7.8%
売上高販管費率	12.9%	12.9%	△ 0.0pt
営業利益	4,982	5,159	+ 3.6%
売上高営業利益率	10.7%	10.3%	△ 0.4pt
営業外収益	190	180	△ 5.1%
営業外費用	119	26	△ 77.5%
経常利益	5,053	5,313	+ 5.1%
特別利益	257	195	-
特別損失	53	159	+ 199.3%
税引前当期純利益	5,257	5,349	+ 1.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,696	3,677	△ 0.5%
売上高当期純利益率	8.0%	7.4%	△ 0.6pt

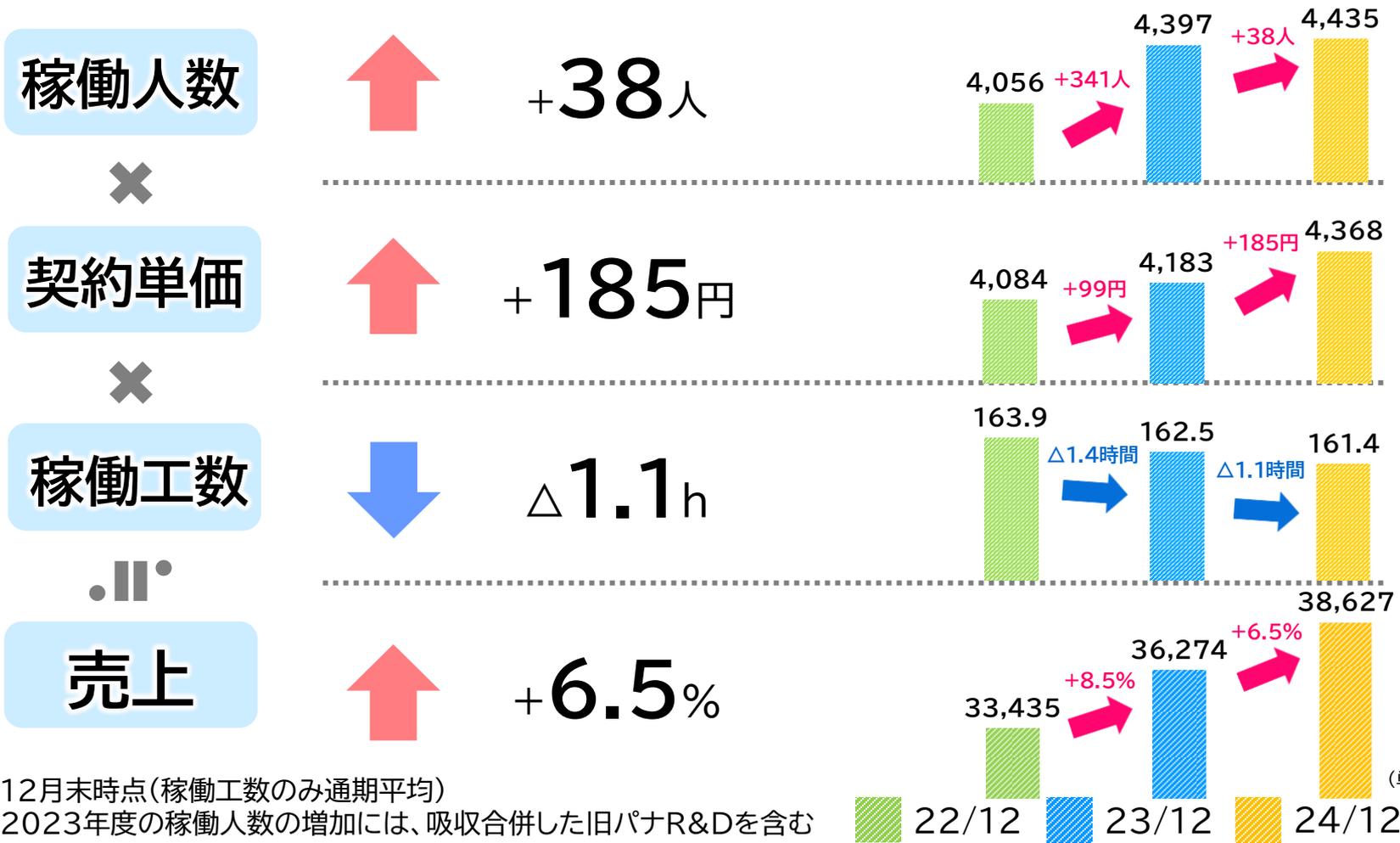
✓ 売上高は、技術社員数、稼働人数共に増加し、前年同期比+7.9%

✓ 売上高営業利益率は、処遇改善により売上原価が増加するも10%超えを維持

✓ 当期純利益は、特別損失にのれん償却の計上があり、前年同期比△0.5%

# 【個別】2024年通期 概要 -3-

■ 稼働工数の増減は、お客様先の働き方によるが、稼働人数や契約単価を上昇させることで、売上高は増収を実現



※12月末時点(稼働工数のみ通期平均)

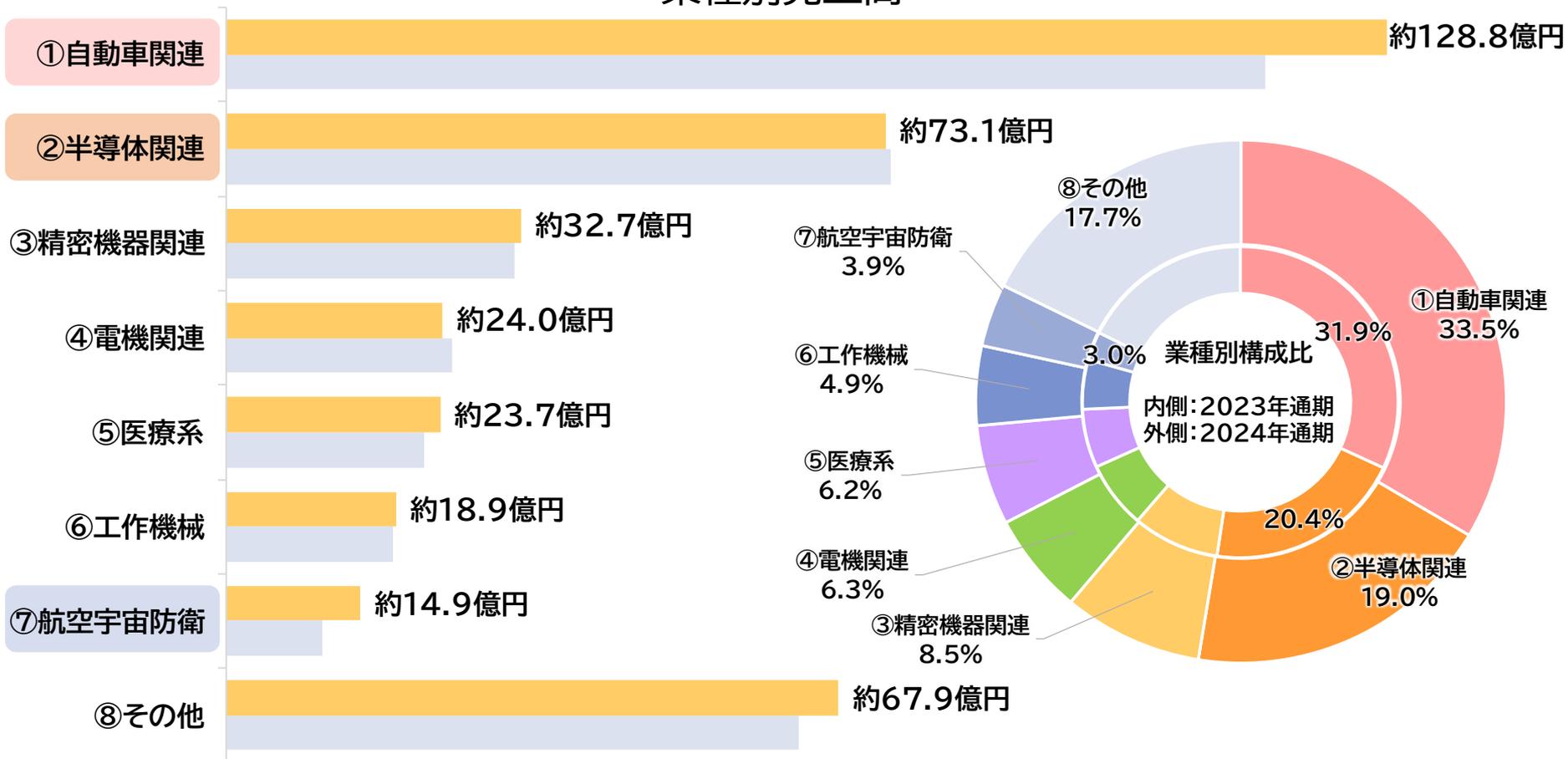
※2023年度の稼働人数の増加には、吸収合併した旧パナR&Dを含む

(単位:百万円)  
 ■ 22/12 ■ 23/12 ■ 24/12

# 【個別】2024年通期 概要 -4-

■ 自動車関連は生産調整の影響受けず売上高・割合共に拡大

業種別売上高



※ 派遣事業の売上(諸経費等除く)

※ 上記グラフは最終製品に紐づく分類

■ 2024 通期 ■ 2023 通期

# 【個別】2024年通期 概要 -5-

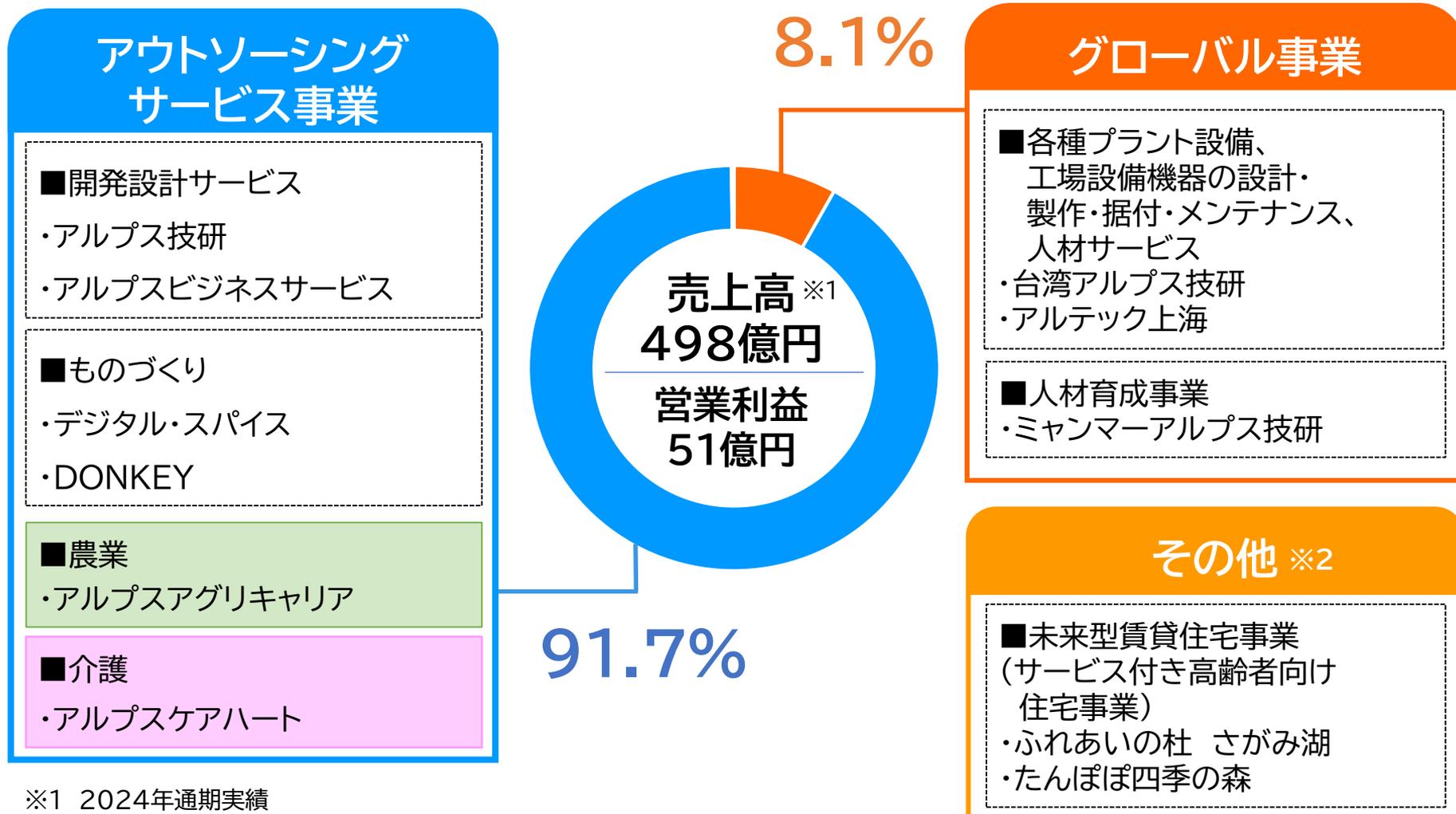
## ■ 売上高上位10社の推移

2022年度 通期	2023年度 通期	2024年度 通期
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
キオクシア	三菱電機	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
三菱電機	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	東京エレクトロン宮城
東京エレクトロン宮城	ソニーセミコンダクタソリューションズ	ソニーセミコンダクタソリューションズ
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	キオクシア	日立ハイテク
ソニーセミコンダクタソリューションズ	東京エレクトロン宮城	富士ソフト
ニコン	日立ハイテク	三菱重工業
日立Astemo	ニコン	デンソーテン
デンソーテン	デンソーテン	ニコン
東芝エネルギーシステムズ	日立Astemo	キオクシア
上位10社比率 24.6%	上位10社比率 21.8%	上位10社比率 20.4%

上位10社の売上比率を20%をめどに構成されております

# 2024年通期 概要 -6-

## ■ 連結・事業セグメント別



※1 2024年通期実績

※2 報告セグメントに含まれていない事業セグメント(売上高構成比の0.2%)

# 目次

---

- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# 中期経営計画 定性目標:第12次5カ年計画

## ■ 2028年までにありたい姿

### 技術を活用し共創社会のパートナーへ挑戦

#### ①技術系アウトソーシング事業 の新領域への挑戦

最先端の技術を身に着けた技術者を育成し、既存の枠に捉われない新たな事業・業務の領域へ挑戦する。

#### ②新たな収益の柱を創る

農業・介護事業は、テクノロジーとの融合を強化し、事業の拡大と収益力の向上を目指す。

#### ③持続可能で豊かな社会の 創生へ貢献

当社グループの持つ技術力、人間力を生かして社会的課題である地方創生に繋がる、新規事業の創出を目指す。

#### ④デジタル化で多様な人材が 活躍する組織・風土の醸成

社内に点在している経営資源を一元管理し効率化を進めることで、多様な人材がより活躍できる体制を目指す。

# 第12次5カ年計画の進捗 -1-

## ■「①技術系アウトソーシング事業の新領域への挑戦」の取組み

### 時代の流れに合わせて新領域を拡大

#### 半導体

- ・2022年12月に特定重要物資として半導体を指定することを閣議決定
- ・2030年度までに半導体・AI分野へ10兆円以上の公的支援※を実施予定

※「AI・半導体産業基盤強化フレーム」より

#### 航空宇宙

- ・2024年3月に「宇宙技術戦略」が策定  
今後10年間で1兆円規模の支援を目指す
- ・2024年度では「宇宙戦略基金」へ合計3,000億円を提供

※内閣府「宇宙技術戦略」より

### 当社の対応

#### 主要な分野へ成長

- ✓ 特別研修・カスタマイズ研修・AI研修・技術者主体の研修を実施
- ✓ 稼働人数は2%増(2023年6月末比)

#### 成長分野と定め注力

- ✓ 技術者のやりたいことを叶える「スペシャリティ研修」を実施
- ✓ 稼働人数は18%増(2023年6月末比)

# 第12次5カ年計画の進捗 -2-

## ■「③持続可能で豊かな社会の創生へ貢献」の取組み

### 地方創生に繋がる新規事業の創出

#### サプライチェーンマネジメント

- ✓ 「アルプス技研ファームとがち」開所
- ✓ 温泉熱やバイオマスバーナーを使用した農業ハウスにてサステナブルなミニトマトの栽培を開始
- ✓ 今後は産地と消費者を繋ぐ流通網を構築



▲農業用ハウス(左)と栽培中の「おんとま」(右)

#### 未来型賃貸住宅事業

- ✓ 自然に囲まれた相模湖畔に誕生
- ✓ 入居者同士の交流の場を提供



▲屋上からの眺望

#### ▼公式HP



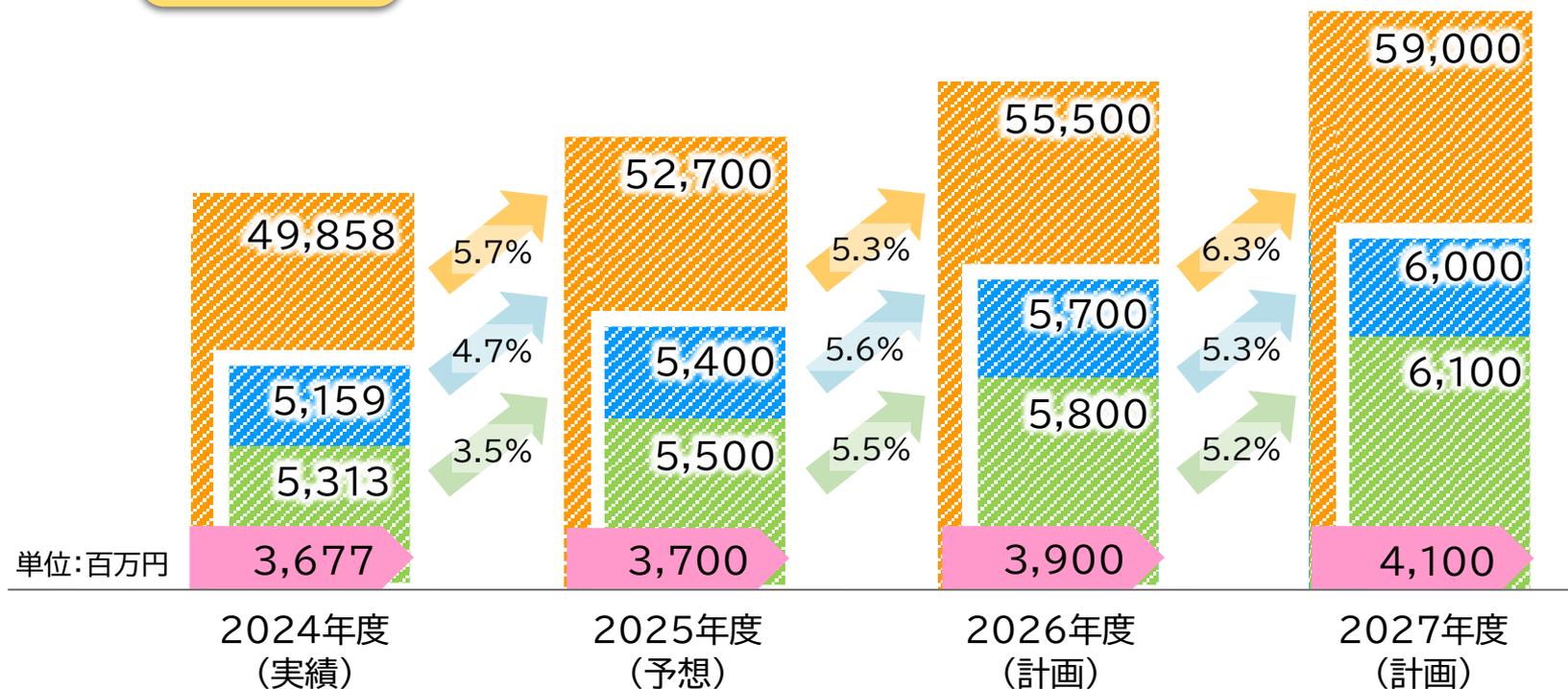
▲ふれあいの杜さがみ湖

# 中期経営計画 定量目標:ローリングプラン

■ 新規事業が寄与し、27年度には営業利益60億円突破へ

2024年度  
ROE  
20.7%

目標：ROE20%以上



▨ 売上高  
▨ 営業利益  
▨ 経常利益  
▨ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 目次

---

- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# 業績予想

## ■ 連結:最高業績更新へ

(単位:百万円)

【連結】	2024年12月期	2025年度通期	
	実績	予想	前期比
売上高	49,858	<b>52,700</b>	5.7%
営業利益	5,159	<b>5,400</b>	4.7%
経常利益	5,313	<b>5,500</b>	3.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,677	<b>3,700</b>	0.6%

【個別】	2024年12月期	2025年度通期	
	実績	予想	前期比
売上高	38,627	<b>40,600</b>	5.1%
営業利益	4,727	<b>4,800</b>	1.5%
経常利益	4,723	<b>4,900</b>	3.7%
当期純利益	3,148	<b>3,400</b>	8.0%

# 目次

---

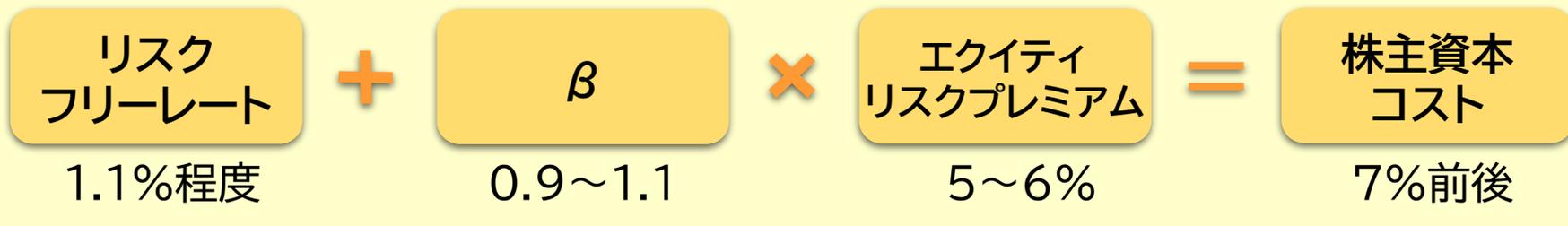
- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# 資本コストや株価を意識した経営 -1-

- 株主資本コストは概ね7%と認識  
積極的な株主還元を通じて更なる企業価値向上を目指します



◆目標ROE20%以上 > 株主資本コスト7%



※1 2024年12月末日

※2 JPX『(参考)集計結果の詳細データ(2024年1月15日公表資料)』よりサービス業を抜粋

※3 ROE、PBRの平均値から試算

# 資本コストや株価を意識した経営 -2-

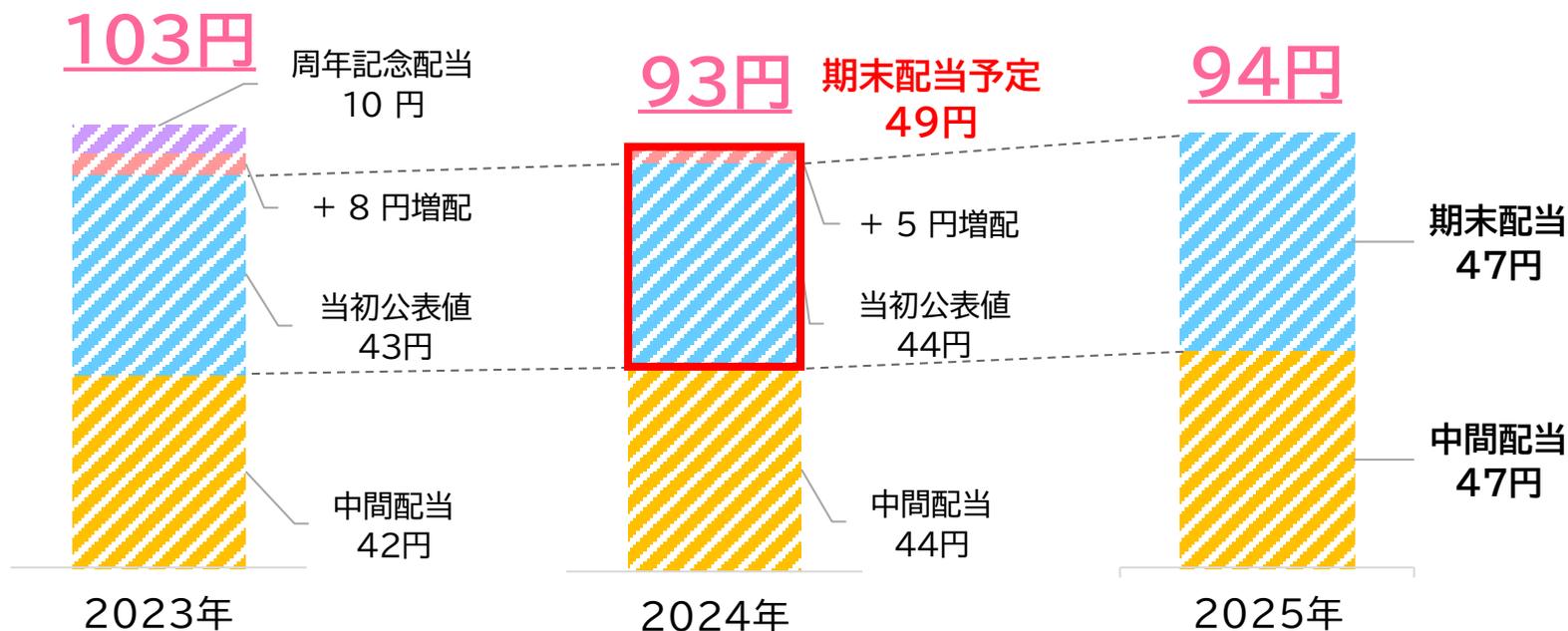
## 配当の基本方針

- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)

### 2023年度実績

### 2024年度予定

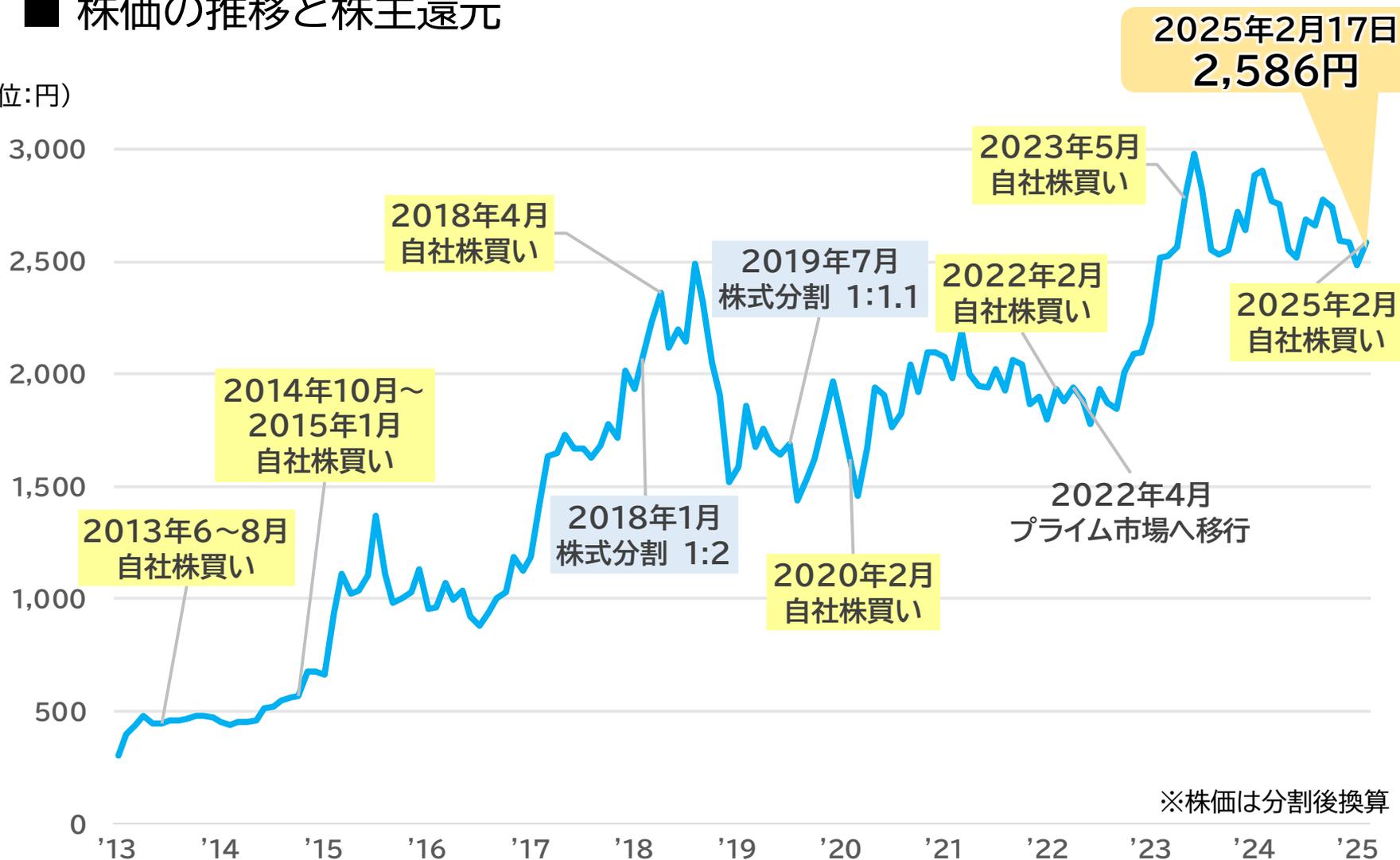
### 2025年度予想



# 資本コストや株価を意識した経営 -3-

## ■ 株価の推移と株主還元

(単位:円)



※株価は分割後換算

# 目次

---

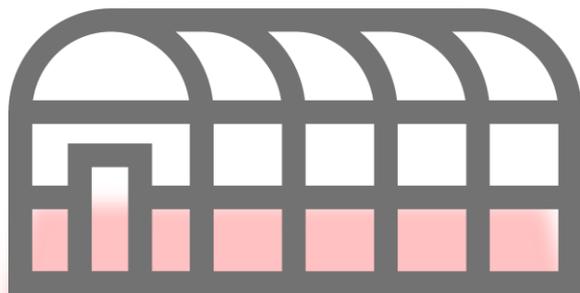
- 1 2024年12月期決算概況
- 2 中期経営計画の取組み状況
- 3 業績予想
- 4 資本コストや株価を意識した経営
- 5 サステナビリティ

# サステナビリティに関する取組み -気候変動-

## 温泉熱で育ったミニトマト『おんとま』販売開始

十勝の冬でも化石燃料を使用せず  
ミニトマトの栽培が可能

ビニールハウス



バイオマス  
バーナー



温泉熱

熱源

時期

進捗

2024年11月 環境に配慮したハウス建設

2024年11月 ミニトマト栽培を開始

2025年 1月 十勝のスーパーで販売開始

今後の取組み

- ・ 産地と消費者をつなぐサプライチェーンの創出
- ・ サステナブルな啓発活動を実施
- ・ 小型農業用ロボットを活用したスマート農業の実現



▲おんとま(北海道のスーパーで販売中) ▲小型農業用ロボット(CP200)

# サステナビリティに関する取組み -人的資本-

環境づくりと社員への支援を通じて会社の価値向上を図る

## 環境づくり

- ・ライフワークバランス
- ・女性活躍推進
- ・エンゲージメント向上

男性の育休取得率 83.5%

管理職に占める  
女性の割合 6.9%

賃上げ 6.2%UP

技術社員数  
(2022年12月末比)  
399人増加

## 社員への支援

- ・個人のスキル向上
- ・モチベーション向上
- ・キャリア形成の支援

研修講座数 1,093講座

勉強会回数 2,441回

独自のESS(エンジニア  
サポートシステム)を活用。

契約単価  
(2022年12月末比)  
284円増加

会社の  
価値向上

人が未来-Next Technology Frontier®



株式会社アルプス技研

第3回

賞金総額  
150万円

大賞  
100万円

# CMパロディ動画 コンテスト



詳細は4月に告知予定!!  
奮ってご応募ください!!

アルプス技研のCMテーマ「人と人の心のつながり」のパロディ動画を大募集!!  
大賞の賞金はなんと**100万円!!** 詳細は<https://www.promotion-alpsgiken.com>まで。

【免責事項】  
本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。